

大沢コミュニティセンター

大沢コミュニティセンターは、地域コミュニティの構築を目的に、1974年日本で初めてのコミュニティセンターとして建てられた。

三鷹市では、コミュニティセンターが市内7ヶ所に設けられており、それぞれの地区内の団体や個人から選出された委員により構成された住民協議会が施設の管理・運営を行っている。大沢コミュニティセンターでも同様に地域住民によって構成された大沢住民協議会が施設の管理・運営を行っており、今日では住民協議会の活動が定着し地域活動の核となっている。

背景

近年、まちづくりや地域施設計画などにおいて住民の参画を実践するケースが多く見られるようになった。住民参加によるプロセスは、住民の声を空間に反映させることを可能にする。それにより利用者にとっての施設価値を高めるだけでなく、地域コミュニティの形成や意識、また今後の施設維持に大きな影響を与えるのではないだろうか。

そういった中で、大沢コミュニティセンターでは、設立後33年が経った現在、施設の老朽化・機能の陳腐化に加え、利用者及び運営者の減少・高齢化という課題を抱えている。

「子どもと行きたいコミセンづくり」 (2006年)

地域の子どもの育ちの場づくりと大沢コミセンの利用者及び運営者の減少・高齢化への対処という2つを目標に掲げる「子どもと行きたいコミセンづくり」というプロジェクトの実践が行われた。本事業は、大沢コミュニティセンターを運営している大沢住民協議会と三鷹市、定行研究室の三者協働により推進された。全4回のワークショップ(WS)やアンケート、ヒアリングなどにより、大沢コミセンを、赤ちゃんや子どもを連れて人にとっても居心地の良い場となるため、ハード・ソフト両面の環境改善を地域住民参加によって行うことに加え、コミセンの抱えている課題にも取り組むことを目標とした。

「乳幼児スペースを もっと楽しく使おう」(2007年)

2006年に行われた大沢コミセンのリニューアルにより、乳幼児スペース、砂場・ウッドデッキ、プレイルームが完成した。それに続き、リフォームされた乳幼児スペースに焦点をあて、空間がどのように利用されているか、また「子どもと行きたいコミセンづくり」の取組みの有効性を明らかにするために「乳幼児スペースをもっと楽しく使おう」プロジェクトが行われた。全4回のWSやヒアリング、アンケートを通じて、利用促進を念頭においた利用ルールの模索、環境づくりを利用者の参加により考案する事を目的としている。

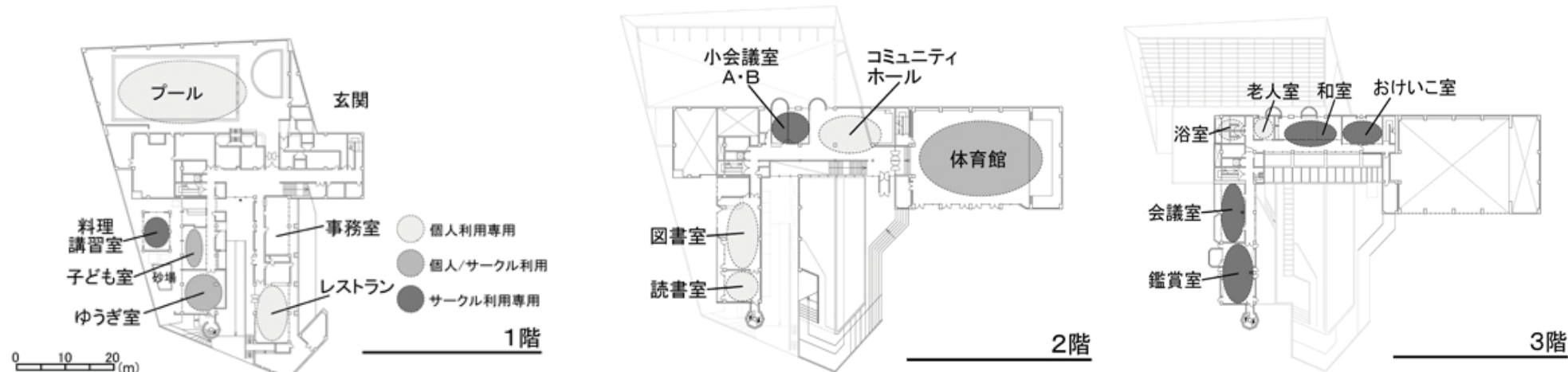


三鷹市 大沢コミュニティセンター

定行研究室・三鷹市・大沢住民協議会

施設名	大沢コミュニティセンター
開設年月	1974年2月24日
所在地	東京都三鷹市大沢4-25-30
建築概要	RC造(地上2階、地下1階)
敷地面積	5247.17㎡
延床面積	3730.81㎡
開館時間	午前10時～午後9時(日曜日は午後5時まで)
休館日	火曜日、国民の祝日、年末年始(12/29～1/3)
主要室	レストラン、プール、子供室、ゆうぎ室、料理講習室、委員会室、体育館ロッカー、コミュニティホール、体育館、小会議室、図書室、読書室、鑑賞室、和室、おけいこ室、コミュニティ広場
管理団体	大沢住民協議会

▲大沢コミュニティセンター施設概要



大沢コミュニティセンター平面図(リフォーム前)

「子どもと行きたいコミセンづくり」プロジェクト

2006年10月～2007年3月

ワークショップの流れと経過

事前調査

大沢住民協会の課題

- 住民協議会委員の高齢化・固定化
- 若い世代の委員獲得の必要性

大沢コミセンの利用実態

- 小学生・高齢者にはよく利用されているが、その他の世代にはあまり利用されていない。
- 大沢コミセンの中には非常によく利用されている空間とあまり利用されていない空間がある。

大沢における子どもの日常について

- どの世代でもそれぞれ地域の中の居場所が少ないが、特に乳幼児とその親が過ごせる場が少ない。
- 大沢コミセンを子どもと利用しやすくするには
- 年齢別均等に「一緒に遊べる場」が必要
- 子ども同士の交流の取れる場が欲しい
- 児童館のように子どもを見てくれる環境が必要

【事前調査】で得られた
大沢コミセンの利用実態をプログラムに反映

住民(大人)	住民(子ども)	住協	行政	定行研
約10	9	5	7	2

参加者人数(○=参加者、□=スタッフ・見学)

第1回WS

1日目

10:00 WS概要説明

グループワークⅠ 大沢コミセンを探検しよう

グループごとにコミセンを探検する

探検後、コミセン探検で発見したことや感想をまとめる

10:30 昼食

グループワークⅡ コミセンリフォーム案を考えよう1

～アイデアをまとめよう～

言葉と絵によってリフォームのアイデアをまとめる

14:30 ミニ発表会

【グループワークⅠ】でまとめたリフォームのアイデアを発表する

15:00 おやつタイム(休憩)

グループワークⅢ コミセンリフォーム案を考えよう2

～模型を作ろう～

【グループワークⅠ】でまとめたリフォームのアイデアを模型に表す

18:00 夕食

18:30 レクリエーション・自由時間

22:00 就寝

2日目

7:30 起床

8:00 朝食

9:00 グループワークⅣ 発表会の内容をまとめよう

・リフォーム案の内容を言葉でまとめる

・発表の仕方をまとめる

10:30 大沢コミセンリフォーム案発表会

・各グループで作成したリフォーム案を一般の来館者の前で発表する

12:00 まとめ

12:30 プログラム終了

第1回WSの成果

子ども達のリフォームに対する考え

- いろいろな世代が交じり合って使うイメージ
- ひとつの部屋をより多目的に柔軟に使いわけるイメージ
- くつろげる場所のイメージ
- 自然との接点(豊かな緑、戸外の活用、小動物とのふれあいなど)
- 子ども自身が活動を作るイメージ
- 豊かな遊びが展開するイメージ

第2回WS

【事前調査】で得られた
大沢コミセンの利用実態、大沢における子ども達の日常をプログラムに反映

住民(大人)	住民(子ども)	住協	行政	定行研
約10	9	5	7	2

参加者人数(○=参加者、□=スタッフ・見学)

13:30 WS概要説明

事前調査報告

・パワーポイントによる事前調査の結果報告

子どもが作成したリフォーム案の説明

・第1回WSで子ども達が作成した4つの作品紹介

14:00 グループワークⅠ 作品評価

・各グループで子どもの作品の持つ良い点、リフォームに生かしたい点を付箋に
出せるだけ多く記入した後、それらを整理する

整理した意見を参加者の前で発表する

14:30 プリンタイム(休憩)

14:45 グループワークⅡ 改良案作成

・子ども達の作品を基に、より現実的なリフォーム案を作成する

15:30 改良案発表

・各グループのリフォーム改良案を発表して貰う

15:50 まとめ

16:00 プログラム終了

第2回WSの成果

大人達のリフォームに対する考え

- 子どもと一緒にいてくれる人がいるところにする
- 子どもから大人まで明るく楽しく使える場にする
- 子どもの持つ気持ちを大切に

【事前調査】[第1回WS][第2回WS]
から得られたリフォームに対する意見を基に
リフォームモデルプランを作成

10/11 リフォームモデルプランの提示

・大沢コミセンにおけるリフォームモデルプランの提示

・リフォームモデルプラン説明会の実施(2006/10/14)

10/11 リフォームモデルプランに対する意見調査の実施

・大沢コミセンにてアンケート配布/回収

10/28

調査結果

リフォームモデルプランに対する意見調査結果

- 若い親世代は子どものためのスペースが出来ることを望んでいる
- 現時点でコミセンでの自主活動など、よく利用している人達は自分達の活動に影響の出ない範囲でリフォームを進めて欲しいと考えている

【第3回WS】
得られたリフォームモデルプラン改善案を
プログラムに反映

住民(大人)	住民(子ども)	住協	行政	定行研
2	8	3	5	

参加者人数(○=参加者、□=スタッフ・見学)

13:30 WS概要説明

リフォームモデルプラン説明

・これまでの事業プロセスの説明

・パワーポイントによるリフォームモデルプランの説明

・リフォームモデルプランに対する意見調査結果報告

・質疑応答

14:10 グループワークⅠ 課題の選択

・調査結果から得られたモデルプランの持つ課題の中から
「最も大きな課題」を抽出する

14:30 「子どもと行きたいコミセンづくり」再確認

・これまでのWS結果を生かしながら課題解決を目指したリフォーム改善案を
作成する

14:45 グループワークⅡ 課題解決の模索

・これまでのWS結果を生かしながら課題解決を目指したリフォーム改善案を
作成する

15:30 改善案発表

・各グループのリフォーム改善案を参加者の前で発表する

15:55 まとめ

16:00 プログラム終了

参加者が作成した改善案より得られた意見

第3回WSの成果

- 2階に小会議室を1つ残す
- 料理室通路は残す
- 委員会室を職員休憩室もしくは会議室として利用する
- コミュニケーション室(親子とも室)を夜間は会議室として利用する

【第3回WS】
得られたリフォームモデルプラン改善案を
プログラムに反映

住民(大人)	住民(子ども)	住協	行政	定行研
1	3	3	4	

参加者人数(○=参加者、□=スタッフ・見学)

13:30 WS概要説明

新リフォームプラン説明

・パワーポイントによる新リフォームプランの説明

・模型による新リフォームプランの内容確認

13:40 現場確認

・リフォームを計画している現場に行き、プランを確認する

14:00 修正点の確認とプランの確定

・プラン修正点についての討論

プランの確定

14:30 まとめ

14:50 プログラム終了

第4回WSの成果

リフォームプランの確定

「乳幼児スペースをもっと楽しく使おう」プロジェクト

2007年4月～2007年12月

ワークショップの内容と結果

WS3

1. みんなでいっつも楽しく交流する約束を考えよう

2. パンフレットや案内板づくりの計画をしましょう

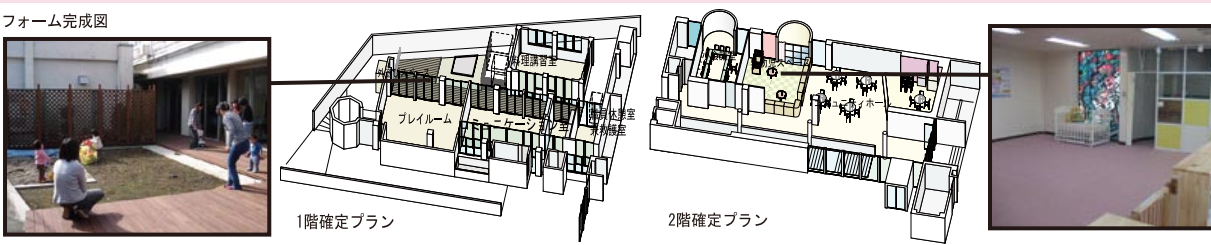
WS4

1. 約束を確認しよう

2. パンフレット・案内板づくりをしましょう

みんなでいっつも楽しく交流する約束	みんなでいっつも楽しく交流する約束	小学生が乳幼児スペースに入る ことに対して前向きな姿勢
◎あかちゃん・小さい子を大切にしよう。 ここはあかちゃん・小さい子優先の場所です。 あかちゃん・小さい子がいるときは、走ったり、大声を出したり するのはいやめましょう。 あかちゃん・小さい子と遊ぶ時はかならず大人に声をかけま しょう。 あかちゃん・小さい子が大勢いたら先こいでも場所をゆずりま しょう。	◎あかちゃん・小さい子優先の場所です。 あかちゃん・小さい子がいるときは、走ったり、大声を出したり するのはいやめましょう。 あかちゃん・小さい子と遊ぶ時はかならず大人に声をかけま しょう。 あかちゃん・小さい子が大勢いたら先こいでも場所をゆずりま しょう。	・PRへの期待
◎おたがいに関わり合いの関係をつくれるといいね。 先こ入っている人も後から来た人もおたがいに関わり合いに声をかけよう	◎おたがいに関わり合いの関係をつくれるといいね。 先こ入っている人も後から来た人もおたがいに関わり合いに声をかけよう	・課題 ・実際の制作
		・乳幼児スペースに小学生が入る ことへの不安の解消
		・住民協議会の承認
		・異なる年齢で交流しながらの制作
		・約束の確認
		・利用意識の向上
		・住民協議会の承認
		・実際の利用
		・ルールの適用

制作物 パンフレット 案内板 約束板



2006年度修士論文 生田紅美「地域における居場所作りのプロセスと住民参加手法に関する研究—三鷹市における住民・行政・大学の協働プロジェクト「子どもと行きたいコミセンづくり」の試み—」
2007年度卒業論文 和田蘭子「子育て支援スペースづくりに関する研究—大沢コミュニティセンターにおける試みと検証—」